



《大原新雪》[京都府京都市左京区大原] 1981年

向井潤吉と ふるさと・京都

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL: 03-5450-9581
www.mukaijunkichi-annex.jp/

開館時間=10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日=毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料=一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円

*障害者の方は100(80)円。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

* ()内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日は無料。

交通案内=東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分/東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分/

東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分/東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分/

東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分/東急バス(渋12)渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

「毎年正月近くになると、
無性に、京、奈良の空と風土が恋しくなって

出かけてゆく。」

向井潤吉と ふるさと・京都

「毎年正月近くなると、無性に、京、奈良の空と風土が恋しくなって出かけてゆく。」

京都は、そう語った向井潤吉(1901-1995)の故郷です。父は宮大工として仕事をした後、10人近い職人を雇って輸出向けの刺繍屏風や衝立の製造を営みました。

京都市立美術工芸学校に進学した向井は、油絵への憧れから、親の反対を押し切って学校を中退し、市内にある関西美術院で本格的に絵画を勉強することになります。1921年に大阪の高島屋呉服店の図案部に勤務するまでの多感な青年期を京都で過ごしました。

戦後、民家をもとめて全国を回った向井は、冬になると毎年京都を訪ね、大原や嵯峨を好んで歩きました。火鉢で手を暖めながら絵筆をとり、現地の人たちと言葉を交わしながら刺身や豆腐などを食すのが、また楽しみのひとつだったようです。

向井自身が記した「制作日誌」(1961年から1988年まで)によれば、この間に描いた油彩画は1070点に及びます。そのうち138点が京都で描かれ、12月が41点と最も多い制作月でした。京都は、埼玉県(340点)、長野県(205点)に次ぎ向井が好んだ制作地なのです。

《大原新雪》《比良春雪》の大原、《奥丹波の秋》《丹波下山の部落》の丹波、《渡月橋々畔》の嵯峨などは、少年時代に過ごした懐かしい原風景としての故郷であるだけでなく、画家を志して関西美術院で素描の基礎をみっちりとした学んだ画業の故郷だといえましょう。本展では、奈良や滋賀など近隣の風景も集め、向井が撮影した民家の写真などもあわせてご紹介いたします。



《渡月橋々畔にて》[京都府京都市左京区嵯峨] 1957(昭和32)年



《丹波下山の部落》[京都府船井郡丹波町下山] 1969(昭和44)年



《比良春雪》[京都府京都市左京区大原] 1970(昭和45)年



《奥丹波の秋》[京都府船井郡丹波町] 1969(昭和44)年頃



《晩秋》[京都府船井郡丹波町] 1969(昭和44)年頃

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581
www.mukaijunkichi-annex.jp/

交通=東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分/東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分/
東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分/東急バス(等11)祖師谷大蔵
駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分/東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅
前」徒歩10分/東急バス(渋12)渋谷駅～二子玉川駅「高津営業所」徒歩10分



©宮本和義

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代)

ハローダイヤル 03-5777-8600

www.setagayaartmuseum.or.jp/

*詳細はホームページなどでご確認ください。

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL:03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/

清川泰次のアトリエⅢ

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)



©宮本和義

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

宮本三郎のデッサン教室

2012年12月11日(火)～2013年3月20日(水・祝)



©宮本和義

